

東北海区沿岸水温予報(2021年)

海域	経過 (4~5月)	現況(6月上旬~ 6月中旬)	見通し (7~8月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県 太平洋沿岸; 青森水総研発表)	・定地水温:4月~5月は平年並み~高めで経過した。	・定地水温は平年並み~高め。 ・6月の津軽暖流の各層水温は表面で極めて高め、50m層及び100m層で平年並み。東方への張り出しははなはだ東偏(太平洋海洋観測結果)。 ・6月の対馬暖流の各層水温は表面でやや高め、50m層で高め、100m層でやや高め(日本海海洋観測結果)。	・津軽暖流域の水温はやや高め~高めで推移する。	・FRA-ROMSによると、7月は高め基調で推移すると予測されている。	特になし。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	【4月】(4/8) 《表面水温》 表面水温は6~12℃台で、県北部で平年並み~やや高め、県中部でやや低め~極めて高め、県南部でやや高め~極めて高めであった。 《100m深水温》 100m深水温は6~8℃台で、県北部でやや高め、県中部から県南部で平年並み~やや高めであった。 ※荒天のため、10海里以内の観測となった。 【5月】(4/27~4/28) 《表面水温》 10海里以内の表面水温は6~9℃台で、全域で平年並み~低めであった。 10海里以遠は、5~17℃台で、県北部沖50海里及び県中部沖30~50海里でやや高め~極めて高めのほかは、やや低め~低めであった。 《100m深水温》 10海里以内は7~8℃台で、全域で平年並み~やや高めであった。 10海里以遠は1~14℃台で、県北部及び県南部で平年並み~低め、県中部で平年並み~やや高めであった。	【6月】(6/1~6/2) 《表面水温》 10海里以内の表面水温は12~16℃台で、平年並み~極めて高めであった。 10海里以遠は、11~18℃台で、平年並み~極めて高めであった。 《100m深水温》 10海里以内は、9~10℃台で、平年並み~高めであった。 10海里以遠は、3~15℃台で、概ね平年並み~やや高めであった。	予測される7月の100m深水温、各0海里定点の10m深水温は、ともに平年並み。	農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した、水温経験的予測システムを用いて解析した。	特になし。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	【4月】 黒潮系暖水の波及が強かったため沿岸表層は平年より2~4℃高く、水深100mでも同様の傾向。 【5月】 岸沿いに親潮系冷水が入り込み岸近くは平年並みとなったが、142°E以東や仙台台湾以南では高めの水温。	表面水温は142°E付近を中心に高く最大4℃高め。水深100mでは142°30'E付近に冷水が波及しており北部海域で2℃低め。	表層水温は高めで推移。水深100mでは岸側海域では平年並み、38°Nラインの143°E付近よりではやや高めとなる見込み。	FRA-ROMSによる。	黒潮が北寄りの流路をとっており特に4月には岸近くまで暖水が北上した。
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水セ発表)	【4月】 《100m深水温》 県北沿岸は「極めて高め」 県中沿岸は「極めて高め」 県南沿岸は「極めて高め」 【5月】 県北沿岸は「平年並み」、沖合は「低め」 県中沿岸は「平年並み」、沖合は「極めて高め」 県南沿岸は「高め」、沖合は「極めて高め」 ※県北:37°50'N、県中:37°25'N 県南:37°00'N 沿岸:142°00'E以西、 沖合:142°15'E以東	【6月】 《100m深水温》 県北沿岸は「平年並み」、沖合は「やや低め」 県中沿岸は「平年並み」、沖合は「平年並み」 県南沿岸は「平年並み」、沖合は「やや低め」	【7月】 「平年並み」もしくは「平年よりやや高め」で推移する。 【8月】 「平年並み」もしくは「平年よりやや高め」で推移する。	2019年に国立研究開発法人 水産研究・教育機構が作成した自己回帰分析を用いた予測モデルによると、7、8月の100m深水温はともに「平年並み」基調で推移すると予測された。 気象庁の海面水温・海流1ヶ月予報(6月10日発表)によると、7月10日までの本州東方の海面水温は「平年より高いもしくはかなり高い」見込みであり、親潮は「沿岸寄りの分岐の南限位置が40°N、147°E付近」になり、「面積は平年並みか平年より小さい」と予測されている。 また、FRA-ROMSが予測している100m深水温においては、2021年7月の福島県	

				海域では平年より0～2℃高めとなり、8月は黒潮系暖水の波及は強まるため、この傾向が継続すると思われる。 以上のことから、7～8月にかけて「平年並み」もしくは「やや高め」で推移すると予測する。	
常磐南部～鹿島灘 (茨城県沿岸；茨城水試発表)	<p>【4月】 断続的な黒潮からの暖水波及により、平年と比較すると、表層では「やや高め」、50m 深では「高め～極めて高め」、100m 深では「やや高め～極めて高め」、200m 深では「高め～極めて高め」となった。</p> <p>【5月】 前月と比較すると、50m～200m深の沖合で降温傾向となった。前月から引き続き黒潮からの暖水に覆われており、表層では「平年並～やや高め」、50m深では「平年並～極めて高め」、100m深では「やや高め～極めて高め」、200m深では「平年並～極めて高め」となった。</p>	前月と比較すると、黒潮が離岸した影響で犬吠埼定線の沖合の地点では降温した。一方、北部では広い範囲で昇温した。 黒潮系の暖水が依然として本海域を覆っており、平年と比較すると、表層では「平年並～高め」、50m深では「平年並～極めて高め」、100m 深では「平年並～極めて高め」、200m深では「平年並～極めて高め」となった。	表層で「高め～極めて高め」、下層で「平年並～やや高め」で推移する見通し。	<p>①FRA-ROMSによると、6月下旬～7月中旬の本県沿岸域の水温は表層で「高め～極めて高め」、100m深で「平年並～高め」の予測となっている。</p> <p>②気象庁によると本州東方・関東南東方は「平年より高い」か「かなり高い」見込みとなっている。</p> <p>③黒潮統流の北限が北偏しており、今後も暖水波及の発生及び暖水が残る可能性がある。</p> <p>④以上より、今後の水温は表層で「高め～極めて高め」、下層で「平年並～やや高め」で推移すると予測した。</p>	特になし。

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸 10 海里内	距岸 10～70 海里			
極めて高い(2.5%)	+3.3℃～	+3.8℃～	+6.1℃～	+5.8℃～	+4.9℃～	+6.1℃～
高い (7.5%)	+2.2～+3.2℃	+2.4～+3.7℃	+3.9～+6.0℃	+3.8～+5.7℃	+3.2～+4.8℃	+4.0～+6.0℃
やや高い (20%)	+0.9～+2.1℃	+1.0～+2.3℃	+1.6～+3.8℃	+1.5～+3.7℃	+1.3～+3.1℃	+1.6～+3.9℃
平年並 (40%)	+0.8～-0.8℃	+0.9～-0.9℃	+1.5～-1.5℃	+1.4～-1.4℃	+1.2～-1.2℃	+1.5～-1.5℃
やや低い (20%)	-0.9～-2.1℃	-1.0～-2.3℃	-1.6～-3.8℃	-1.5～-3.7℃	-1.3～-3.1℃	-1.6～-3.9℃
低い (7.5%)	-2.2～-3.2℃	-2.4～-3.7℃	-3.9～-6.0℃	-3.8～-5.7℃	-3.2～-4.8℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.2℃～	-3.8℃～	-6.1℃～	-5.8℃～	-4.9℃～	-6.1℃～

*1991年1月～2020年12月の100m深度の水温データを基に階級区分を行なっている。